

小須戸公民館報

町館信日
戸公常15
須中月
小成毎
発行日
発行日
印刷所

愛の一声 運動を提案

～ 小須戸町教育懇談会 ～



教育懇談会風景

第二十回を迎えた 教育懇談会

小須戸町連合PTA主催の教育懇談会が、去る十一月十七日中央公民館三階大ホールで開催されました。

この会は、小須戸町の学校、家庭・地域が連携協力しながら、それぞれの立場で教育力を高め、より良い環境を作り出すことを目的としており、今年で第二十回目を迎えました。これまでは、町民憲章を提案したり、青少年の非行多発の原因を探ったりと様々な問題をテーマに取り上げ、協議してきました。

テーマに「愛の一声運動」を提唱
今年度は、町教育関係団体の代表者、約五十名が参加し、テーマ「愛の一声運動」について活発な意見交換がなされました。



テーマ「愛の一声運動」は、あいさつを交わすことから、地域のコミュニケーションを図り、併せて、一声かけることによる子供達の事故防止と健全育成を目指すものとなっています。近年、都市化、核家族化、母親の就労化等の進行によって、地域での連帯感や、家庭・地域の教育力の低下が指摘されています。そのため、子供達の社会道徳意識も薄れてきている状況です。

そのような中で、今回のテーマは、意義あるものと言えるでしょう。

推進に当たっての任務と方策
この運動を推進するに当たっては、町・関係団体・教育機関がお互いにそれぞれの役割を分担し、総合的な活動を展開する必要があります。中でも、住民と直接関係がある地域団体が、推進の要としての役割を果たすことが大切です。さらに、活動に際しては、地域性・環境等に



留意し、独自の具体的な方策を考えていかなければなりません。

そのためには、運動の推進に当たっては、地域住民の自発的な活動の中から進めていくことが最も大切です。日常生活において、様々な場面があるわけですから、その中で、住民一人一人の意識を高める活動も進めていく必要があります。

充実した生活は家庭と地域から
私達の充実した生活は、地域社会と直接・間接的に関わり、心豊かな地域社会があつて、初めて成り立つものです。魅力ある地域づくりに向けての積極的な活動が望まれます。

懇談会での意見の一部を紹介
○「おはよう」「さようなら」の形式にこだわらず、日常生活の中で青少年への一声運動にしなければならぬ。
○あいさつは、まず、大人から一声が大切である。
○出かける時の一声が、交通安全に役立つ。
○気軽にあいさつできる地域づくりが重要である。

○全町で取り組めるものと、各地域で取り組めるものがある。身近な所から取り組むことになりやすい。
○家庭内でのあいさつを大切に

最後に、今後の取り組み方として、教育委員会・青少年問題協議会・社会教育委員会・町連合PTAの四団体で、具体的な活動に向けて協議することになりました。

予定時間をオーバーするほど活発な意見が交わされ、改めて、一声運動に対する関心の高さがうかがわれました。

今後において、活動に取り組むことになり、町民の皆様のご協力をお願いします。

あなたが気持ちいい
いつでもどこでも
さきに言うて
つづけよう

第三十八回町民卓球大会

理研コイルチーム男女団体優勝

十一月八日、町民体育館に於て、約百二十名の参加で開催された結果、団体戦で理研コイルチームが男子、女子で優勝しました。結果は次のとおりです。

- 男子団体優勝 理研コイルD
- 女子団体優勝 理研コイルC
- 優等祈願会 理研コイルC
- 中学生チーム 理研コイルA
- 中学生C 理研コイルA
- 中学生A 理研コイルA

第九回町民バドミントン大会

AクラスとBクラスのシングル、ダブルスで同時優勝者出る

十一月十五日、町民体育館に於て、約六十名の参加で開催されました。当日は、Aクラスで高野豊さん(蔵町三)Bクラスで中野敏子さん(横川浜)がシングル、ダブルスで優勝しました。結果は次のとおりです。

- 〈ダブルス〉
- Aクラス優勝 風間 久(文京町二)
- 二位 高野 豊(蔵町三)
- 二位 入倉勝男(本町五)
- 菊部和義(新潟市方代町)
- Bクラス優勝 丸山淳子(文京町二)
- 二位 中野節子(横川浜)
- 二位 須藤玲子(新保)
- 三位 須藤信子(新保)
- 三位 吉川恵子(蔵町五)
- 小林久子(中央町三)
- Cクラス優勝 保科智子(矢代田七)
- 二位 白井美和(小向)
- 二位 古川忠美子(矢代田三)

ふゆさと散歩 (8)

拓本。石碑などの文字や絵を墨をつけた布でたたき、紙に浮き上がらせるものである。

「良寛、一茶、会津八一。みんな著名なだけに作品を入手する事はむずかしわね。その点、拓本は自分で採ってこれるし、ずっと鑑賞できる」と語ってくれたのは、吉田吉平さん(新町二六十四才)である。知人に採り方を教えてもらい、以来十五年間、県内外の石碑から拓本を採り続けている。



拓本を採るのはむずかしいみたいですが

〈個人戦〉
一般男子優勝 横山俊樹
横山俊樹(天ヶ沢)
一般女子優勝 牧野圭子(本町三)

男子初心者クラス優勝 小林 晃(大川前三)
女子初心者クラス優勝 上田静香(新栄町三)
婦人部クラス優勝 渡辺富子(矢代田)

鎌田ヨミ子(松ヶ丘)
五十嵐千恵子(文京町一)
牧野友子(本町四)
〈シングル〉
Aクラス優勝 高野 豊(蔵町三)
Bクラス優勝 中野節子(横川浜)
Cクラス優勝 坂井美智子(蔵町四)

十一月一日〜六日まで諏訪神社境内で開催された菊花展には二百七十鉢の参加があり、色とりどりの菊が出展されました。結果は次のとおりです。

- 町長賞・厚物三幹 五十嵐 福(横川浜)
- 日報賞・細管物三幹 吉田 ミナ(横川浜)
- 農協組合長賞・福助作 吉田 二(横川浜)
- 渡辺紘三賞・厚物三幹 高橋松三郎(竜玄)
- 商工会長賞・厚物一幹 吉井ヒロイ(新保)
- 議長賞・管物一幹 長井 孝夫(大川前六)
- 公民館長賞・一文字 齊藤 一策(天ヶ沢一)
- 会長賞・細管物三幹 栗林 ハル(竜玄)

昭和六十二年 菊花展

十一月一日〜六日まで諏訪神社境内で開催された菊花展には二百七十鉢の参加があり、色とりどりの菊が出展されました。結果は次のとおりです。

'87年公民館 活動を振り返る

昭和六十二年も残すところ半月程になりました。この一年間公民館では、社会教育の拠点として、多種多様な活動に取り組んで来ました。来年に向けて今年一年の主な事業を振り返ってみる事にしましょう。

新しい事業

小須戸町史を読む会

私達の郷土小須戸町の歴史を知ると共に、今後の町づくりを考えて行きます。講師木村先生熱心で幅広い年齢層の方々七十二名が集まりました。

初心者俳句教室

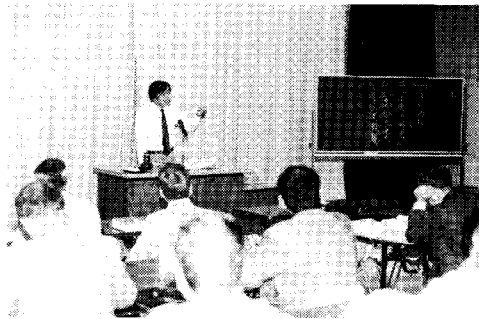
俳句を通して潤いのある生活を送りましょう。俳句を作る基本を学んでいます。公民館文化祭にも参加するなど活発に活動しています。

古典講座

一昨年より実施していましたが、今年より講師小林先生(新津南高)をお迎えして、平家物語を学習中。巧みな話術とヒデオを使ったりしての楽



初心者俳句教室



小須戸町史を読む会

継続事業

幼児家庭教育学級

三才から就学までの子どもを持つ両親を対象に実施。花横止夫先生との座談会、おやつ作り、プール遊びなどを実施。望ましい養育態度と親子のふれ合いを大切にしてきました。

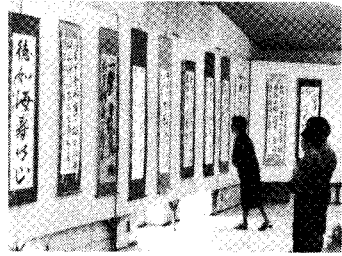
川柳教室

ユーモアを交えて、五、七、五の十七字を詠みます。講師夏井先生との楽しい講座です。参加者十七名

手づくり成人式
新成人が、自分達の手で作る成人式です。記念文集作り、スライド映写、大変でしたが思い出がひとつ増えました。

親子文庫

横水保育園、幼稚園の子どもたちを対象として、月二回絵本を貸し出しています。一日のうち、わずかな時間でも親子揃って本を読んでみましょう。



町民展・文化祭

文化祭関係事業

第十三回町民展・文化祭

十一月一日(三日)に実施。今年には、チビッ子絵画、こすど子写真展、公民館利用団体ボスター展、文芸展を新たに開催。多勢の方々来場してくれました。

第四回文化講演会

十一月八日実施。河内さくら先生をお迎えし、「健康ですごすための食生活」のテーマで講演。来場者も三百人近く、盛況でした。

第三回芸能祭

十一月十五日実施。十七団体の参加団体から構成された実行委員会の協力で、会場は三百人を超える来場者であふれました。実行委員の皆様、ありがとうございました。



幼児家庭教育学級

分館活動

分館は、地域に密着した活動を展開しています。ぜひ気軽に参加してみてください。活動は分館により異なりますが、運動会、明るい家庭づくり講演会、婦人学級、親子映画会、親子釣り大会、球技大会、野球大会など、様々です。



小須戸分館運動会

図書

だより

ラバース・オンリー
山田詠美
父親不在シンドローム
斎藤茂太
他五冊
〈一般図書〉
武田信玄(全四巻) 新田次郎
殺しの双曲線七人の証人
西村京太郎
戦争(上・下) 朝日ソノラマ
ゴルバチョフの嘘 中川八洋
ハード・ラック・ウーマン 栗本 薫
すべての男は消耗品である
村上 龍
ソウル・ミュージック
村上 龍
〈図書寄贈御礼〉
野俣玲子様 (鎌倉)
(休館について)
十二月二十八日(月)から一月四日(月)まで休館となります。
訂正とおわび
先月号でご案内しました栄養改善料理講習会は十一月二十日の誤りでした。おわびいたします。

催しものご案内

スキー教室開催のお知らせ

期日 二月六日(土)七日(日)
場所 五日町スキー場
定員 四十名(定員になり次第締め切ります)
対象 年齢性別問わず。但し、中学生以下は保護者同伴
参加費 一人七千五百円
(一泊二食、車代)
申込先 一月二十日(水)までに教育委員会へどうぞ(T.E.L.三八三二二内線五七)
主催 小須戸町教育委員会

第十六回町民元旦マラソン

期日 一月一日(元旦)
午前九時三十分受付開始
集合場所 中央公民館
種目 3km・5km
参加資格 小学四年生以上、但し小学三年生以下は保護者同伴
参加料 一人五百円(傷害保険料) 申込み 十二月二十五日までに公民館、教育委員会へどうぞ

大正琴クラブ会員募集

大正琴は、現在五グループ、六十余名の方が愛好しています。この度、新しい愛好者の方のグループを作りたいと存じます。ぜひご参加下さい。
申込み 十二月二十五日までに中央公民館へどうぞ
練習 月二回月曜日午後七時 講師 金子先生(新潟市)
※十名以下ではグループ編成いたしません。詳細は後日連絡いたします。
小須戸町大正琴愛好会

16mm映画・ビデオ視聴室

「茶の湯の世界をさぐる」
期日 一月二十日(水)
午後七時三十分～九時まで
会場 中央公民館二階視聴覚室
内容 茶の湯の作法
(茶室・庭・花・掛軸)
レコード音楽を聴く会
どなたでもお気軽にどうぞ

短歌

年の瀬の露店市場の人込みに雪払いつつ注連縄を購う
緑濃き丘多かりし濱民の借田は明るく麓に続
野牡丹の一日のいのち濃紫ひとひらつに
散るあはれかな
加藤 茂

十一月例会作品

小須戸町俳句同好会

津津と游の青さや谷紅葉
初雪の便りもありて米を搗く
昇る陽をあまねく受けし大瓢
口中に涙まだ残るさわし柿
ふるさとの刈田一望旅了る
台風くるらし予報山近し
秋深む今年もお宮に瀬戸物屋
みな同じ構え四・五軒秋さくら
大根煮て厨の玻璃をくもらせる
暮早しをんなばかりの湯治宿
赤い札ばかりの一車今年米
ゆづられしペンチの温み菊日和
秀 虚 越 美 松 富 良 太 久 香 素
穂 秋 楼 ナ 根 山 沙 浪 子 月 系

短歌クラブ作品

遮断機のカンカン鳴りし踏切で今日の仕事の予定思えり
群をなし小鳥の飛べるさまに見ゆ梅の落葉風
に散り舞い
初霜のとけつつ庭に臘梅の花芽ひそかに育
まれゆく
吾が靴のコツコツ高く響きゆく夜のホームに
人影はなし
まどろみでおれば聞こゆるはるかより鳴りて
近づく冬の雷
晩年を踊りにかけし叔母なれば柩に好みの着
物添えやる
村山 浩子
村山 文子
吉田 久次

川柳教室作品

題「時事」

名画とはよく盗まれる物と知り
上がる円下がる株とて縁がない
国民のふところ狙う新税制
組板に乗せられ球児運命待つ
大臣の言うほど地価は下がらない
わかる迄名士で居ます知能犯
二人とも針一刺して引退し
大島も忘れる頃に震えくる
風見鶏船出の舵を裏でとり
株価にはかわりもなくさんま焼く
地価狂乱夢の御殿を税が責め
名画から三億犯の足がつき
騒がして又騒がして引退し
東京都地価に噴火に悲鳴あげ
こしひかり新大臣の後を押し
地上げ屋に弱い市民が追出され
大森美恵子
砂井 政子
野俣 好雪
村山 浩子
村山 文子
吉田 久次